

登山・登攀の記録

ヨセミテ国立公園(アメリカ) エルキャピタン ゾディアック 5.11 A3 16ピッチ

日時:1997年9月

メンバー:富澤隆一郎、出村(京都大学OB)

概要:大学3年生終了時に1年間休学し、5月から9月にかけてアメリカ・ヨセミテ国立公園とフランス・シャモニにてクライミングを行った。その際ヨセミテにて、エルキャピタンで最もポピュラーなルートの一つであるゾディアックルートを京都大学OBの出村氏と一緒に登った。傾斜が強く、変化に富んだ綺麗なルートで、全体的にピトン類は必要なく、カムやフックなどのナチュラルプロテクションで登れるルートだった。初めてのビッグウォールだったので荷揚げなどのロープ操作に手間取った。



左/タンジェリントリップ
右/ゾディアック

記録

初日 晴

1ピッチ目は大きな穴にフックを掛けることから始まる。その後ボルトを交えてフィンガーサイズの快適なクラックを上がる。しかしクラックはだんだん細くなっていき、カムもピトンも決まり難いピトンスカーになる。ここが最初の核心で何度もフォールする。出村氏が新調したマイクロサイズのカムを強引に逆さ掛けして越えるが、それが回収できなくなってしまい痛恨の残置をしてしまう。

2ピッチ目はルーフ下のクラックを右にトラバースした後、ルーフを越えて直上する。終了点にロープをフィックスし下降する。



1ピッチ目をリードする

2日目 晴

フィックスロープをユマーリングで上がる。3ピッチ目はフックのかけ換えから右上する少しハングっぽいクラックに入りハングを越える。その後左上するクラックをハンドトラバースを交えて上がる。3ピッチ目の終了点はレッジになっており、ロープをフィックスし下降する。

3日目 休み。

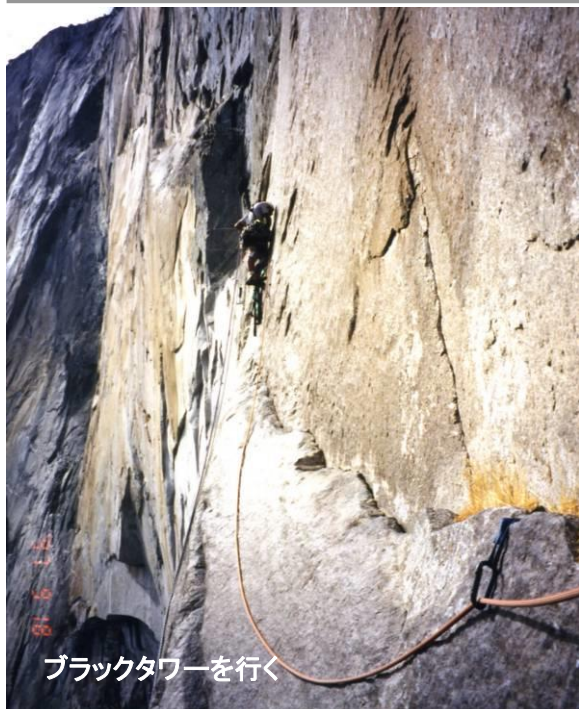
4日目(1ビバーク目) 晴

フィックスロープをユマーリングで上がる。4ピッチ目は5.6のフリークライムからハンドサイズの快適なクラックへ。終了点近くに叩くと浮いている音がする大きなブロックがあり緊張する。5ピッチ目はボルトラダー。終了点はレッジになっており、そこに出村氏はポーターレッジ、富澤はハンモックを設営してビバークする。

5日目(2ビバーク目) 曇

6ピッチ目はボルトから快適なクラック。7ピッチ目はテラスをフリークライムを交えて左にトラバースしてブラックタワーと呼ばれる黒いタワー状のところを上がる。非常に細いクラックで、ラープという薄く

登山・登攀の記録



ブラックタワーに行く

て短いピトンを打って超える。8 ピッチ目は左上するテラスから右上するハングの下のボルトラダーに入る。ハングを越えたところにある終了点にロープをフィックスして下降し、7 ピッチ目の終了点のレッジでビバークする。

6 日目 (3 ビバーク目) 晴

フィックスロープをユマーリングで上がる。9 ピッチ目はサークルピッチと呼ばれるこのルートのコアで、出村氏がリードし、苦戦する。コーナーに走った非常に細かいクラックをラプやナイフブレードを駆使して登る。所々でマイクロサイズのカムが決まり心強い。10 ピッチ目はその形状からニップルピッチと呼ばれ、難しくはないが有名なピッチ。富澤がリードする。ボルトラダーから右上するワイドなルーフクラックに入り、体が挟まるサイズのニップル状のワイドクラック部分を越えてハング下の終



サークルピッチ



ニップルピッチ

了点へ。そこでビバークする。

7 日目 (4 ビバーク目) 曇

11 ピッチ目はマーク・オブ・ゾロ・ルーフと呼ばれるジグザク状のルーフクラック。12、13 ピッチ目は傾斜があまりなくルートが分かり辛い。ルートの間違い時間をロスする。13 ピッチ目の終了点であるピーナツレッジでビバークする。

8 日目 晴

14、15、16 ピッチ目はすんなりと抜けることができ、お昼ぐらいに終了点に立つ。その日のうちにイーストレッジを下降、キャンプ場に戻る。

(記/富澤)



15 ピッチ目出だし

登山・登攀の記録

トポ (上/ Zodiac, 下/ Tangerine Trip)

